

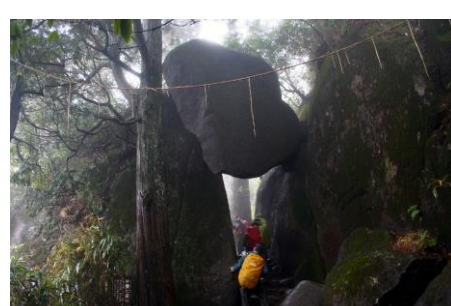
どんぐり山行通信 第107号

筑波山

2016年3月19日(土)
雨、
参加者 18名
(つくばさん 877m)



定刻通りに北市民センター、若葉駅を出発。常磐道の守谷SAで休憩した頃から雨模様になった。筑波山神社にて雨止み祈願をするもお賽銭をケチったせいかご利益なし。本日のリーダー福手さんを先頭に、サブの佐野さんが中間、しんがり牛島さんという陣容で御幸が原コースを登る。小雨と霧の中、杉の巨木が墨絵のように林立し、男女川(みなのがわ)の源流ともなる湧き水でのどを潤す。きつい登りではないが次第に汗ばみ、やがてケーブルカー筑波山頂駅がある御幸ヶ原に到着した。ここからは希望者9名で男体山山頂を目指す。途中にはカタクリの蕾がじつと晴れ間を待っているけなげな姿があった。御幸ヶ原には山頂の周囲をめぐる自然研究路があり、折々の花が楽しめるが今日は割愛。ケーブルカー駅のレストランでお弁当を広げ、各自でなめこ汁や豚汁などを注文して体を温めた。昼食後は女体山へ向かう。筑波山



は男体(870m)、女体(877m)の2峰からなる双耳峰だが女体山の方が高い。山頂で記念撮影ののち、ロープウェイで下山するメンバーを見送って、ロープウェイのつつじヶ丘駅を目指して下山開始。このコースは母の胎内潜りや弁慶七戻りなどの奇岩・怪石が多い。雨はようやく止んできたが岩の上は滑りやすく、時々スリップする悲鳴が聞こえた。ところが何ということか、つつじヶ丘駅に着いたとたん、それまでの雨や霧が嘘のように晴れ渡り、日差しが出てきた。先ほどまでの雨雲はどこにいったのか、帰りのバスからは青空をバックに筑波山が山頂までよく見える。どうも筑波山神社の御利益は遅効性らしい。今回の山行はリーダーの手腕でペース配分もよく、雨中山行ながら全員まとまった行動ができ、話題も弾んだ楽しい一日であった。

守谷 SA7:20 - 筑波山神社 8:25 - 御幸ヶ原 10:50 - 男体山山頂 11:05 - 昼食 11:30 - 女体山 12:20 - 弁慶茶屋跡 13:20 - つつじヶ丘駅 14:20 - 守谷 SA15:30 - 北市民センター17:15 (まとめ南雲記)

